

●モノグラフ

小学生ナウ

Vol. 9 - 10

テレビアニメ(ドラマ)と子どもたち

—女性主人公の分析—

目次

要 約	2
はじめに	6
1. 調査の方法と対象	7
● A) アンケート調査	7
● B) 番組分析	7
2. 子どもの中の性役割	9
● 色の好み	9
● 好きな教科	10
● 自分の「男らしさ・女らしさ」	12
● 将来つきたい職業	12
3. 子どもの見ている番組	14
● 何を見ているか	14
4. 子ども番組の分析	18
● 子ども番組の放映の現状	18
● 番組の種類について	21
● 番組で扱っているテーマ	24
● 登場人物の力関係	27
● 家族との関係をめぐって	31
● 暴力をめぐって	32
● 問題解決方法	32
● 主人公の職業と社会的地位	33
5. まとめ	35
地球社会の子どもたち ② 日本—その5 働く子どもたち	深谷昌志 37
資料1 調査票見本および集計表	41

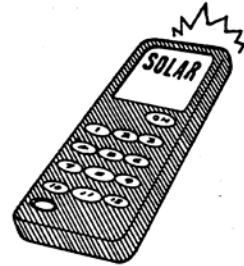
おことわり：本文中に使用した写真は、本文・テーマとはいっさい関係ありません。

調査レポート
 テレビアニメ(ドラマ)と子どもたち
 -女性主人公の分析-
 要約

東京学芸大学教授 深谷和子
 元東京学芸大学大学院生 横山聡子

1. 目的と方法

子どもがよく見ているテレビの子ども番組
 (ドラマ・アニメ)の内容分析を通じて、そ
 こに描かれている主人公の男の子像、女の子
 像を分析する。対象となった53番組は、1988
 年6月から8月に放映されたものである。



2. 子どもの好む番組

子どもの好む(よく見る)番組は、アニメ
 2に対してドラマ1の割合であった。これら
 53番組の6割は「テレビ朝日」と「フジテレビ」
 によって放映されている。(表3、表6、表7)

3. 子どもの一番好きなキャラクター

男女ともに同性キャラクターを好む傾向があるが、女子の男性キャラクターファンも多い。(表4、表5、図7)



4. 主人公

主人公の性別は、全体の85%が男性で、性比が著しくかたよっている。(表8)



要 約

5. 女性主人公の描かれ方(1)

女の子たちの同一化(あこがれ)となるであろう女性主人公の描かれ方には多くの問題が感じられる。

男性主人公のストーリーが、過去、現在、未来を含み、世界に活躍の場があるのに対し、女性主人公のストーリーは時間的にも、空間的にも狭く限定されている。またテーマ・メッセージも女性主人公の場合、学校や家庭生活に限定され、問題が生じたときの解決の方法も依存的であり、周囲に「してもらおう」形が多い。(表8、表9、表10、表11、表12、表14、表15)



6. 女性主人公の描かれ方(2)

登場人物の人間関係を5つに分類してみると、女性主人公の番組は「仲間型」「庇護型」が多く、男性主人公は多岐にわたって描かれている。また女性主人公の場合は、家庭や両親とのつながりを男性主人公より強調して描かれている。

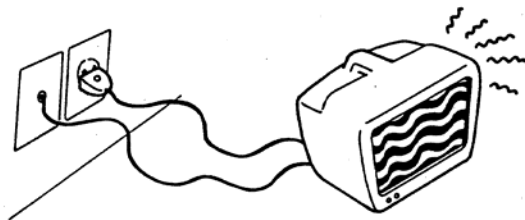
また職業や社会的地位も、女性主人公は「子」の立場を示す「学生」が多く、男性主人公のように個性や独立した人格に描かれていることが少ない。

(図8、表16、表17、表19、表20)

7. まとめ

学校での授業時間数の1.5倍(年間)もテレビの前にすわっている子どもたちの上に、テレビの持つ教育力は極めて大きいと思われる。とくに子どもの人生観、人間観、自分の将来像に与える影響の大きさは、はかり知れぬものがあると考えられる。

しかしテレビアニメやドラマ(子どものよく見る番組)に描かれる女性主人公像には、大きな性的ステレオタイプが見られ、これが子どものなりたい職業像(表2)に、大きく影響している可能性も十分考えられる。男女共同参加型社会の実現が目ざされる今日、子ども番組の内容に、親や教師はもう少し関心を払うべきではなかろうか。





はじめに

1987年から1988年にかけて、マスコミを賑わせた問題の1つに“アグネス論争”がある。働く母親と子育てに関する論争に始まり、夫婦の役割分担や職場の改善など、単なる女性問題としてでなく、社会問題を含むものとして広く捉えられた観がある。芸能人、作家はもちろん、大学教授などの学識者や政治家、一般人までもが様々な方向から、新聞、テレビ、週刊誌、月刊誌、女性雑誌など多くの場で意見を述べた。いずれにせよ、このような性役割問題が、マスコミで広く取り上げられたことは、このテーマがそれだけ世間一般の関心を引く対象となってきたことを示すものだろう。確かに働く女性の増加、男女雇用機会均等法の制定により、女性の社会的地位は向上したかにみなされてきた。しかし、その一方では、依然として伝統的な性役割観も色濃く残っており、いわば現代における性役割の混乱とあるべき方向への模索がこうした論争を発展させたとも考えられる。

そもそも、性役割概念というものは、いつ、どこで獲得されるのか。

子ども期においては性役割についてのモデル学習が重要であると、研究者によって指摘されている。その際のモデルとは、身近なと

ころでは家族、近隣の人、友だちなどが挙げられるが、しかし、都市化に伴って他人との接触から受ける影響よりもむしろ、女子の高学歴化、女子や母親の就労率の増加など、女性が伝統的性役割から抜け出し始めている現状と、子どものテレビ視聴時間の増加とその内容などが、性役割学習により大きな影響力をもつに至っているのではなかろうか。

テレビ番組については、これまで家族像の分析や、暴力・残酷場面の影響に関する考察など、多くの研究がある。しかし、性役割をテーマとした分析となると鈴木みどり氏による「子どもとテレビの会」の研究以外は、それほど目立ったものはなさそうである。

本号では、子どものよく見る番組を取り上げ（それに若干のアンケート調査のデータを加えて）その内容分析を試みた結果を報告したい。

なお、ここで「子ども番組」とは、子どもが視聴している「連続テレビドラマ・アニメーション番組」を指すこととする。さらにその中で、アニメーション番組以外のもの、すなわち役者が演じている番組を「ドラマ番組」とすることとした。

1. 調査の方法と対象



A) アンケート調査

子どもの視聴調査と若干の性役割獲得状況を探るアンケート調査を、小4～小6年生981

名に実施した。調査時期は1988年7月であった。対象校は東京と横浜であった。

B) 番組分析

対象とした番組は1988年6月から8月に関東地方で放映された、連続アニメーション番組とドラマ番組で、再放送を含む53番組をVTRに収録したものである。ただしU局は除外してある。

なお分析の方法は次の角度から行われた。

① 内容分析

1. 番組のデータ (番組名・サブタイトル・放映日・時間帯・キー局・種類・ジャンル・雰囲気・時代設定・舞台となる国)

2. あらすじ (番組全体の流れと、分析対象の回について)

3. 状況描写 (セリフ・動作・場所・背景の特徴・付随音楽・効果音)
4. コメント (番組に対して気づいたことなど自由に)

② 登場人物の分析

1. プロフィール (名前・性別・年齢・同居家族・国籍・主人公との関係〈サブキャラクター〉・職業や社会的地位・特技・性格・外見や容姿・担当声優の性別〈アニメ〉)
2. 行動 (暴力の有無・問題解決の手段)

③ 音楽の分析

付随音楽や効果音の効用は、使われる場面によるところが大きいと思われるので、内容分析と併せて行う。したがって、ここでの音楽とは、主題歌やエンディング、といった、いわゆるタイトルバックで使用される音楽を指す。これらは“番組の顔”であり、番組のテーマ、その他、中心となるものを象徴していると思われる。また、毎回くり返してきく音楽であるから、子どもたちにとって最も身近な音楽であると同時に、歌詞に込められた

メッセージなど、何らかの影響を与えると思われる。補足として、付随音楽の作曲者と属している音楽のジャンルについてもまとめる必要がある。

1. タイトルバック

〈オープニングとエンディング〉

(音楽のジャンル・歌手の性別と年齢・歌詞・画面の印象について)

2. 付随音楽〈BGM〉 (作曲者の属している音楽のジャンル・演奏法など)

④ タイ=インCM (キャラクター商品を含む)の有無

「タイ=インCM」とは、番組の前後や中間に挿入されるCMのうち、その番組の登場人物が商品の宣伝をしたり、商品化されて広告されているものをいう。こういったCMは、番組本体と混同されやすく、本体と同じ影響力をもつと考えられる。

このようなタイ=インCM・キャラクター商品についての分析は、制作者側の意図を知る上で有用であり、また、番組が対象としている年齢・性別を知る手がかりともなる。

(ただし紙面上の制約から、音楽、CMに関する分析は、このレポートでは割愛した)

2. 子どもの中の性役割



まず、現代の子どもたちはその中にどの程度性役割（男らしさ・女らしさ）を身につけているか、その一端を「色の好み」「教科の

好き嫌い」「将来なりたいもの」についてみてみよう。

色の好み

表1によると、全体として子どもが好む色は、「水色、青、黄色、白」などで、また性差が見られるのは、男子が青、女子が白の2

色だけであり、この点からみると感覚的な性差は縮小しつつあるように思われる。

表1 好きな色(一番好きな色+次に好きな色)

(%)

	男子	女子	全体
水色	19.4	20.6	20.0
青	24.8	9.0	16.9
みどり	9.2	7.2	8.2
黄色	16.1	15.5	15.8
赤	7.6	6.2	6.9
ピンク	4.1	6.3	5.2
オレンジ	4.0	6.2	5.1
白	8.3	20.3	14.3
黒	6.5	8.7	7.6
計	100.0	100.0	100.0

好きな教科

教科の好みとの関連で性差をみると、「音楽、家庭科」は女子が、「体育」は男子に好まれているものの、算数、国語などのいわゆる主

要教科では思ったほど差が見いだされない(図1~5)。

図1 教科・音楽

(%)

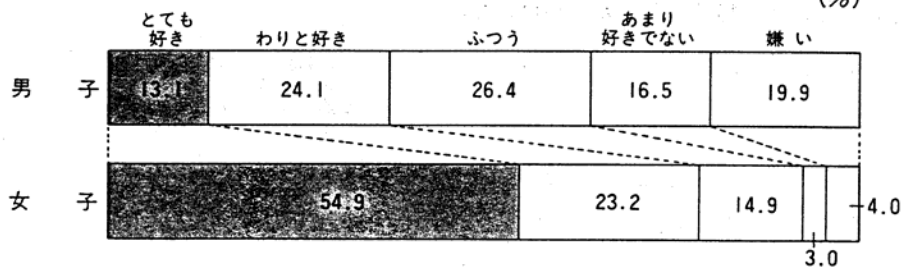


図2 教科・家庭科

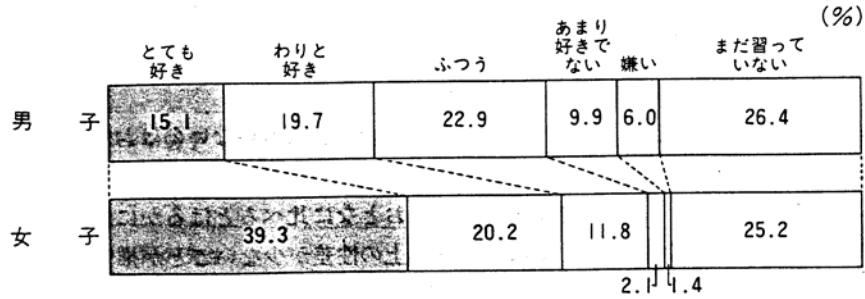


図3 教科・体育

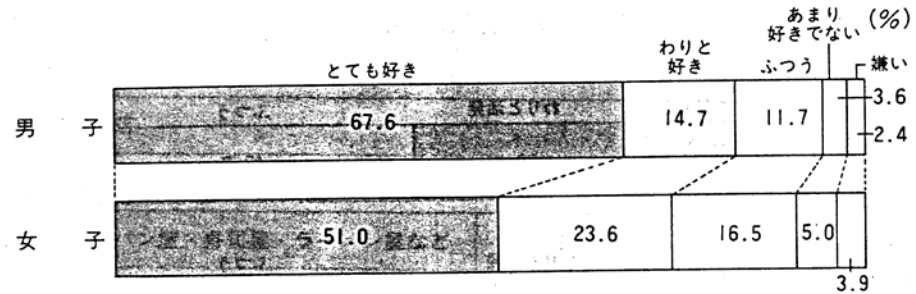


図4 教科・算数

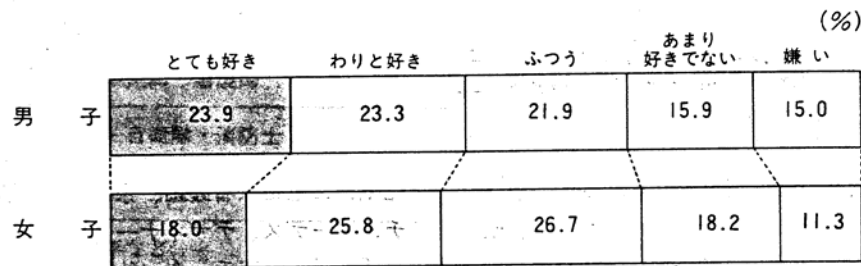
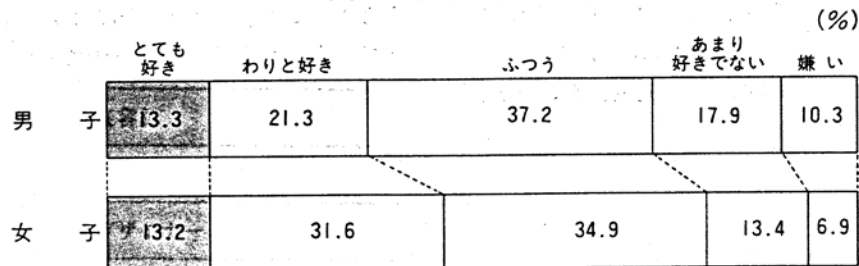


図5 教科・国語



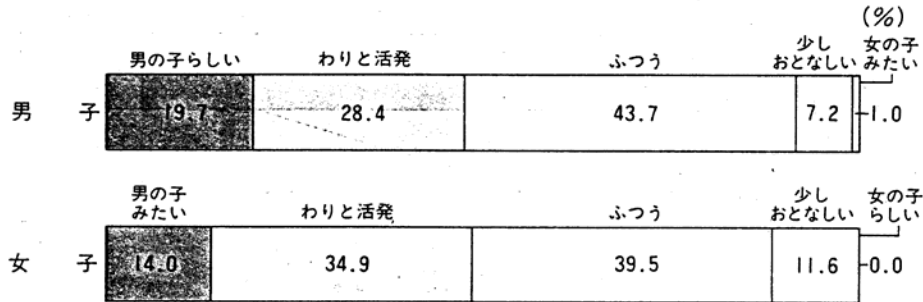
自分の「男らしさ・女らしさ」

図6のような尺度を使って自分の性度をトータルに評価させると、男女ともに自分を「男の子らしい(男の子みたいな)子、活発な子」と評価している傾向が見うけられ、とくに女子で自分を「女の子らしい子」と評価してい

る者が1人もいないのはおもしろい。

以上の結果から、この時期の子どもたちは、おとなに比べるとはるかに行動や関心・興味上の性差が少ないことが推定される。

図6 自分の男らしさ・女らしさ



将来つきたい職業

しかし現在、性役割を受け入れる度合いは少ない(行動上の性差は少ない)ものの、表2に示したように、将来つきたい職業についてみると、かなりの性差が見いだされる。すなわち現在の性差はそれほどでなくても、自分の将来像については男女それぞれに、自分の性役割についての認識があり、それを受け入れようとしている構えがうかがえる。

女子がつきたい職業は、「先生、タレント、

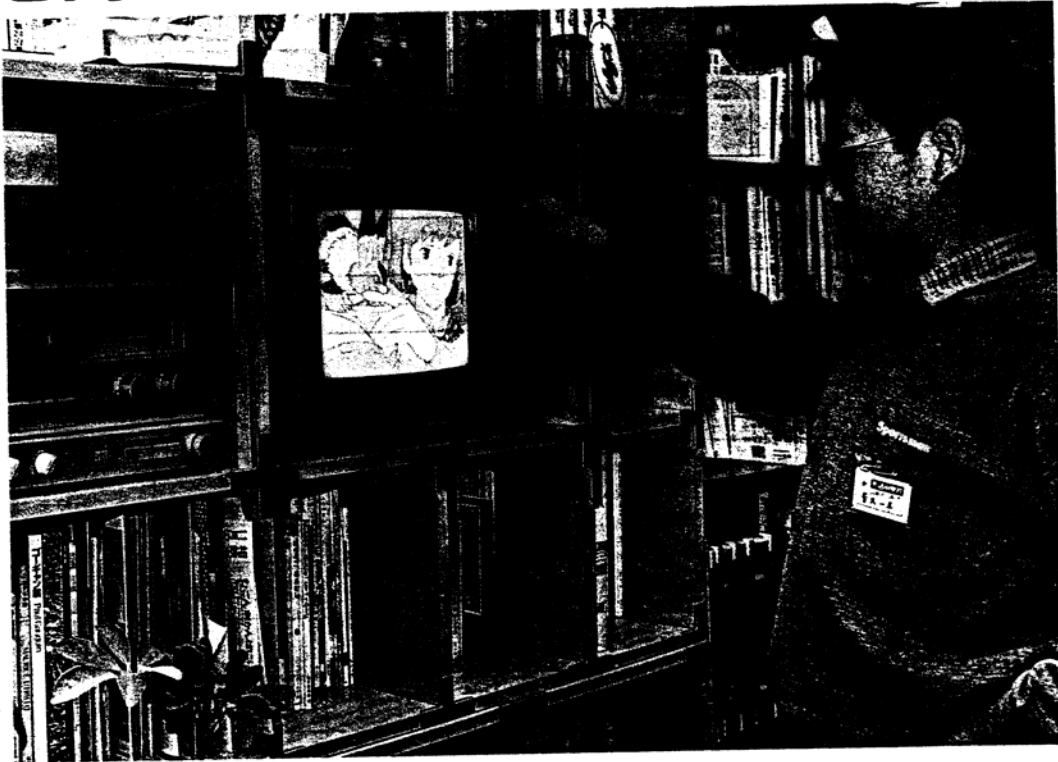
花屋、薬剤師・看護婦、家政婦、美容師、スチュワーデス、デザイナー」等であり、男子は「スポーツ選手、食べ物屋、技術者、消防士・警官、公務員・外交官・弁護士、運転手、駅長・車掌、社長・総理大臣」など、かなりの性差が見いだされる。テレビ番組の視聴率なども、こうした進路やあこがれの職業によって影響されることは十分予想される。

表2 将来なりたい職業

(人)

仕事名		男子	女子
スポーツ選手		65	5
先生	先生	5	27
	体育の先生	1	4
	音楽・ピアノの先生	—	15
	幼稚園の先生・保母	—	53
作家・まんが家・イラストレーター		15	20
タレント・歌手など		4	22
店	店	7	4
	自転車・カーショップ	5	2
	パン屋・寿司屋・ラーメン屋など	7	1
	ペットショップ	3	3
	花屋	—	11
技術関係(エンジニア・設計士など)		13	2
医学	医師・獣医など	9	9
	薬剤師・看護婦	4	25
警察・自衛隊・消防士		11	5
公務員・弁護士・外交官など		14	6
運転手など		27	3
探検家・探偵など		5	—
車掌・駅長など		3	1
社長・総理大臣		6	—
お嫁さん・家政婦		—	6
その他	美容師	—	9
	スチュワーデス	—	8
	デザイナー	—	16
合計		204	257

3. 子どもの見ている番組



何を見ているか

子どもはどんなテレビ番組を見ているか。子ども番組または子どもに好まれているおとな番組を予備調査によって53番組選びだし、その視聴率を見たのが表3である。

表が示すように、どの番組も男女ともによく見られているが、しかし、いくつかの番組(「オバケのQ太郎」「忍者ハットリくん」など)を除いては、やはり視聴率に性差が少なからず見いだされる。しかし「登場人物の中で最も好きな人物」を挙げさせると、表4のようになり、これをまとめてみると表5のように

なる。全体としては330人のキャラクターが挙げられているが、そのうち4分の3は男性で、男性キャラクターのほうが、多数登場し多くのファンをもつことが推定される。なお、これを性別でみたのが、図7である。男女いずれも同性キャラクターを好む傾向が見いだされるが、男性キャラクターを好む女子も36%(逆に女性キャラクターを好む男子は18%)おり、全体としての「男性キャラクター人気」が特徴的である。

表3 よく見る番組

(%)

(%)

作品名	視聴率			作品名	視聴率		
	全体	男子	女子		全体	男子	女子
サザエさん	58.1	51.7	(64.7)	あぶない刑事	18.3	16.3	(20.2)
ドラえもん	52.4	(56.9)	47.7	キャプテン翼	17.7	(30.2)	5.0
ついでにとんちんかん	50.3	(54.9)	45.7	闘将!! 拉麺男	17.4	(28.2)	6.4
ビックリマン	48.4	(56.5)	40.1	ドカベン	17.2	(30.0)	4.1
ドラゴンボール	46.6	(68.4)	24.2	アニメ三銃士	17.1	19.3	14.9
キテレツ大百科	45.9	(53.5)	38.2	小公子セディ	16.9	9.3	(24.8)
おそ松くん	44.8	(55.1)	34.3	ザ・スクールコップ	15.6	8.5	(22.9)
ミスター味っ子	37.9	(49.7)	25.8	水戸黄門	14.9	(19.7)	10.1
つるピカハゲ丸くん	37.9	(43.5)	32.2	わんぱくダック夢冒険	14.8	18.4	11.5
聖闘士星矢	36.1	(57.7)	14.0	あそびにおいでヨ!	14.7	6.2	(23.3)
燃える! お兄さん	35.2	(49.5)	20.7	仮面ライダーBLACK	14.6	(20.3)	8.5
あぶない少年II	34.8	18.9	(51.0)	F	13.3	(20.9)	5.4
のらくろクン	31.2	26.4	(36.0)	魔神英雄伝ワタル	10.9	(19.1)	2.5
魁!! 男塾	30.3	(47.1)	13.0	セーラー服通り	10.8	3.0	(18.8)
じゃあまん探偵団魔隣組	27.6	24.5	30.8	鉄拳チンミ	10.3	(16.3)	3.7
武田信玄	27.2	(33.2)	21.1	超獣戦隊ライブマン	9.5	11.9	7.0
ど根性ガエル	27.2	(33.0)	20.5	シティーハンター2	8.6	10.9	6.2
ゲゲゲの鬼太郎	26.4	29.2	23.6	西部警察PART III	8.5	(12.9)	3.9
忍者ハットリくん	23.4	25.6	21.1	名奉行遠山の金さん	5.8	7.2	4.1
プロゴルファー祈子	21.6	9.9	(33.7)	とんとんドメルとロン	5.6	6.6	4.3
世界忍者ジライヤ	21.5	(26.4)	16.5	NEWジャングル	5.0	5.2	4.8
オバケのQ太郎	21.5	22.1	20.9	ハロー! レディリン	4.8	1.6	(8.1)
若奥さまは腕まくり!	20.5	8.9	(32.4)	鎧伝サムライトルーパー	4.3	(8.0)	0.6
エスパー魔美	20.0	11.9	(28.3)	暴れん坊将軍III	4.1	5.2	3.1
怪物くん	19.8	(23.7)	15.7	コンボラキッド	3.7	4.2	3.3
花のあすか組!	19.7	9.9	(29.8)	超音戦士ボーグマン	2.3	4.0	0.6
パーマン	18.5	(21.9)	14.9				

「必ず・たいてい見る」割合

表4 一番好きな登場人物

(人)

(人)

作品名	全体	男性	女性	作品名	全体	男性	女性
ビックリマン	12	9	3	魔神英雄伝ワタル	5	3	2
聖闘士星矢	12	10	2	キテレツ大百科	5	4	1
ドラゴンボール	11	10	1	小公子セディ	5	3	2
サザエさん	11	8	3	のらくろクン	5	3	2
ドカベン	11	9	2	鎧伝サムライトルーパー	5	5	0
魁!!男塾	10	10	0	鉄拳チンミ	5	4	1
オバケのQ太郎	10	7	3	あそびにおいでヨ!	4	1	3
わんぱくダック夢冒険	10	8	2	ザ・スクールコップ	4	3	1
おそ松くん	10	9	1	超獣戦隊ライブマン	4	3	1
キャプテン翼	10	10	0	シティーハンター2	4	2	2
燃える!お兄さん	9	6	3	エスパー魔美	4	3	1
じゃあまん探偵団魔隣組	9	8	1	コンボラキッド	4	4	0
アニメ三銃士	9	6	3	プロゴルファー祈子	4	2	2
パーマン	9	6	3	あぶない刑事	4	3	1
ゲゲゲの鬼太郎	9	6	3	西部警察PARTⅢ	4	4	0
あぶない少年Ⅱ	9	8	1	ハロー!レディリン	3	1	2
闘将!!拉麵男	9	8	1	セーラー服通り	3	2	1
武田信玄	8	5	3	名奉行遠山の金さん	3	2	1
忍者ハットリくん	8	6	2	若奥さまは腕まくり!	3	1	2
ドラえもん	8	6	2	とんとんドメルとロン	2	2	0
つるピカハゲ丸くん	7	4	3	NEWジャングル	2	2	0
世界忍者ジライヤ	7	6	1	仮面ライダーBLACK	2	2	0
ど根性ガエル	7	6	1	F	2	2	0
怪物くん	6	5	1	花のあすか組!	2	0	2
ミスター味っ子	6	5	1	超音戦士ボーグマン	2	2	0
水戸黄門	6	5	1	暴れん坊將軍Ⅲ	1	1	0
ついでにとんちんかん	6	5	1				

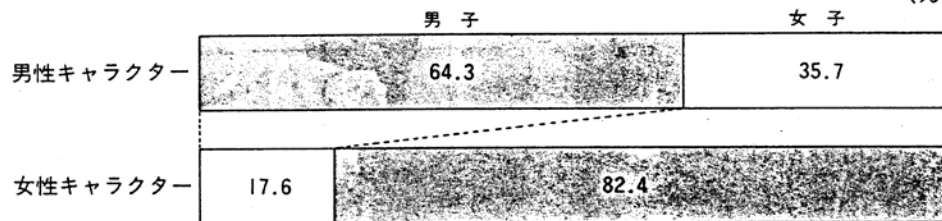
表5 一番好きな登場人物(人数)

(人)

	男性キャラクター	女性キャラクター
全53番組で	255	75
1番組あたりの平均	4.8	1.4

図7 一番好きな登場人物

(%)



4. 子ども番組の分析



⊕ ⊕ 子ども番組の放映の現状 ⊕ ⊕

今回、分析の対象とした53番組は、次のような基準で選ばれた。

- ① 1988年6月～8月に関東地区で放映された番組(再放映は含むがU局は除く)
 - ② 連続ドラマ・アニメーションであること(ただし、毎回主人公が変わるものは除く)
 - ③ 一般に子どもがテレビを視聴しているといわれる時間帯のもの(16時～21時前後)
- これらを分析用に1988年6月～8月にかけてVTRに収録した。

まず表6は、53番組のアニメーションとドラマの割合である。ドラマ18本、アニメーション35本とその比率は1対2で、アニメーションが多くなっている。ついでに子ども番組

の放映本数は「テレビ朝日」が17本、「フジテレビ」が15本で、この2局を合わせると全体の6割に達している。この2局のもつ子どもの健全育成上の責任は、大きいものがあるといえそうだ。

なお子ども向け番組は、1番組30分のもの1時間のものに分けられる。表7によると、アニメーション番組は全て30分、ドラマは1時間のもので主であるといえよう。

放映時間帯についてみると、アニメーション番組は17時～20時(33本)に、ドラマは20時～21時(9本)に集中している。また再放映は16時～20時にあり、その時間帯の本放送との比率は1対1である。

表6 ドラマとアニメの本数

放送局(日)	ドラマ本数*		アニメーション全		計(本数×%)	
	本数	%	本数	%	本数	%
BS-NHK(高)	1本	5.6%	1本	2.8%	2本	3.8%
日本テレビ	2	11.1	5	14.3	7	13.2
BS-TBS(高)	4	22.1	-	-	4	7.5
BSフジ(高)	5	27.8	10	28.6	15	28.4
テレビ朝日	5	27.8	12	34.3	17	32.0
テレビ東京	1	5.6	7	20.0	8	15.1
計	18本	100.0%	35本	100.0%	53本	100.0%

表7 番組名

局	番組名	放映日・時間	局	番組名	放映日・時間	
NHK	* 武田信玄	(日)20:00~20:45	テレビ朝日	ビックリマン	(日) 8:30~ 8:45	
	アニメ三銃士	(金)19:30~20:00		* 世界忍者ジライヤ	(日) 9:30~10:00	
日本テレビ	闘将!! 拉麺男	(日)10:30~11:00		パーマン (再)	(火)18:25~18:45	
	燃える! お兄さん	(月)19:30~20:00		エスパー魔美	(火)18:50~19:20	
	超音戦士ボーグマン	(水)17:00~17:30		怪物くん (再)	(水)18:25~18:45	
	シティーハンター2	(金)16:30~17:00		オバケのQ太郎 (再)	(木)18:25~18:45	
	魔神英雄伝ワタル	(金)17:00~17:30		つるピカハゲ丸くん (再)	(木)18:50~19:20	
	* NEWジャングル	(金)20:00~20:58		コンボラキッド (再)	(金)17:00~17:30	
	* あぶない刑事 (再)	(月~金) 17:00~18:00		忍者ハットリくん (再)	(金)18:25~18:45	
	TBS	* 仮面ライダーBLACK		(日)10:00~10:30	ドラえもん	(金)18:50~19:20
* 水戸黄門 (第12部)		(月)20:00~20:54		* 名奉行遠山の金さん	(木)20:00~20:54	
* 若奥さまは腕まくり!		(金)21:00~21:54		鎧伝サムライトルーパー	(土)17:30~18:00	
* セーラー服通り (再)		(月~金) 17:00~18:00		* 超獣戦隊ライブマン	(土)18:00~18:25	
フジテレビ	* じゃあまん探偵団魔隣組	(日) 9:00~ 9:30		聖闘士星矢	(土)19:00~19:30	
	のらくろクン	(日)18:00~18:30		鉄拳チンミ	(土)19:30~20:00	
	サザエさん	(日)18:30~19:00		* 暴れん坊将軍III	(土)20:00~20:58	
	キテレツ大百科	(日)19:00~19:30		* 西部警察PART III (再)	(月~金) 17:00~18:00	
	小公子セディ	(日)19:30~20:00		テレビ東京	わんぱくダック夢冒険	(月)17:00~17:30
	魁!! 男塾	(月)19:00~19:30			* あぶない少年II	(水)20:00~20:54
	* 花のあすか組!	(月)19:30~20:00	どんどんどメルとロン		(金)18:00~18:30	
	ドラゴンボール	(水)19:00~19:30	ハロー! レディリン		(金)18:00~18:25	
	F (再)	(水)19:30~20:00	ドカベン (再)		(木)19:00~19:30	
	* ザ・スクールコップ	(水)20:00~20:54	ミスター味っ子		(木)19:30~18:00	
	* あそびにおいでヨ!	(月)21:00~21:54	キャプテン翼 (再)		(金)18:30~19:00	
	おそ松くん	(土)18:30~19:00	ど根性ガエル (再)		(月~木) 18:30~19:00	
	ついでにとんちんかん	(土)19:00~20:00				
	* プロゴルファー祈子 (再)	(月~金) 16:00~17:00				
	ゲゲゲの鬼太郎 (再)	(月~金) 17:25~17:55				

* ドラマ番組

番組の種類について

まず番組の種類を見ていくことにしよう。表8は、ドラマとアニメーション番組に分けて、主人公の性別を見たものである。全体としては男性主人公45人女性主人公8人で、全体の85%が男性主人公となっている。ただしドラマだけについてみると13人対5人で72%とやや性比は少なくなるが、それにしても圧倒的に男性の主人公が多くなっている。世の中の中心が男性であるような世界観も、ここから作りだされるかもしれないのである。

また表9は、番組のジャンルである。全体では、不思議な超常現象を扱った「SF・ファンタジー」が34%、次いで「日常」(30%)が多くなっている。主人公の性別で見ると、男性の番組群については「SF・ファンタジー」が多いが、他にも「日常」「過去・時代

劇」などいくつかジャンルにわたっている。それに対して主人公が女性の番組群では、「日常」が63%と大半を占め、他は、「SF・ファンタジー」「刑事・アクション」「スポーツ・根性」がそれぞれ13%あるだけで、男性主人公の番組に比べ舞台となる世界が小さいことが特徴である。女子は子ども時代から、想像の世界においてすら小さく狭い世界の中で生活しているのか。それともマスメディアによってそうさせられているのか。いずれにせよ、気になるところである。

この点については表10のストーリーの展開される「舞台」を見た資料でも明らかである。主人公の性別にかかわらず「日本」を舞台としている番組は75%と多いが、ここでも男性が主人公の番組のほうが、女性が主人公の番

表8 番組の種類

番組の種類		男性主人公	女性主人公	全体			
人数	割合	人数	割合	人数			
実写・ドラマ		13人	28.9%	5人	62.5%	18人	33.9%
アニメーション番組	劇画調	3	6.7	—	—	3	5.7
	少年マンガ調	6	13.3	—	—	6	11.3
	少女マンガ調	—	—	1	12.5	1	1.9
	児童マンガ調	22	48.9	2	25.0	24	45.3
	動物もの	1	2.2	—	—	1	1.9
計		45人	100.0%	8人	100.0%	53人	100.0%

表9 番組のジャンル

	男性主人公		女性主人公		全 体	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
SF・ファンタジー	17人	37.8%	1人	12.5%	18人	33.9%
日常	11	24.4	5	62.5	16	30.3
過去・時代劇	6	13.3	—	—	6	11.3
刑事・アクション	5	11.1	1	12.5	6	11.3
スポーツ・根性	5	11.1	1	12.5	6	11.3
その他	1	2.3	—	—	1	1.9
計	45人	100.0%	8人	100.0%	53人	100.0%

表10 舞 台

	男性主人公		女性主人公		全 体	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
日 本	33人	73.3%	7人	87.5%	40人	75.4%
西 欧	4	8.9	1	12.5	5	9.4
架空地	3	6.7	—	—	3	5.7
中 国	2	4.4	—	—	2	3.8
不 明	3	6.7	—	—	3	5.7
計	45人	100.0%	8人	100.0%	53人	100.0%

組より、舞台となる国が多様となっている。

また表11に示したように、男性主人公の活躍する番組は、現在を中心に、過去、未来と長い時間にわたっているが、女性主人公の番組は現在のみと、ここでも時代が限定されている。

さらに表12は、番組の雰囲気 analysed した結果である。ギャグ・コメディとシリアスものは

全体としては半々だが、ここでも女性主人公の番組のほうに、よりシリアスものが少なくなっている。

以上、これらの番組はどの角度からも女子に対する伝統的な性役割の強化（狭い世界での人生）をはかることに役立つように作成されているのではなかろうか。

表11 時代設定

	男性主人公		女性主人公		全 体	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
現 在	30人	66.7%	8人	100.0%	38人	71.7%
過 去	7	15.5	—	—	7	13.2
未 来	3	6.7	—	—	3	5.7
不 明	5	11.1	—	—	5	9.4
トータル計	45人	100.0%	8人	100.0%	53人	100.0%

表12 番組の雰囲気

番組の種類	男性主人公		女性主人公		全 体	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
ギャグ・コメディ	20人	44.4%	5人	62.5%	25人	47.2%
シリアス	22	48.9	3	37.5	25	47.2
その他	3	6.7	—	—	3	5.6
トータル計	45人	100.0%	8人	100.0%	53人	100.0%

🌀🌀 番組で扱っているテーマ 🌀🌀

こうした子ども番組は、その中でどんなテーマを扱い、どんな価値を子どもの中に注入しようとしているのだろうか。表13に、分析対象とした53番組のテーマ・メッセージと思われる要素をまとめた。それぞれの番組は、その内容から「戦闘」「事件解決」「時代劇」「スポーツ・根性」「学校生活」「家庭生活」「ギャグ・ナンセンス」の7分野に分けてある。(ただし大部分の番組には、何らかのテーマやメッセージが見られるが、「家庭生活」「ギャグ・ナンセンス」の一部の番組からは明確なものが読み取れなかった)

次に表14は、これをまとめたものである。表が示すように、男性が主人公の番組は「戦

闘」「スポーツ・根性」が比較的多くを占めており、7つの項目全般にわたってほぼ同じような数値が見られる。

女性が主人公の番組は「学校生活」「家庭生活」に集中し、ジャンルも狭い。また、動物が主人公のものは「家庭生活」「ギャグ・ナンセンス」のみである。

次に表15は、テーマ・メッセージを主人公の性別でまとめたものである。

表が示すように、男性主人公の番組は、「悪者退治」の26%「友情」の21%がメインテーマであり、これに対して女性主人公の場合は「恋」が40%と、それぞれのメッセージに大きな違いが見られる。

表13 テーマ一覧

型	作品名	テーマ				
戦闘	闘将!!拉麺男	友情、目的・目標	スポーツ・根性	闘将!!拉麺男	友情、目的・目標	
	聖闘士星矢	友情、献身、正義感、悪者退治		鉄拳チンミ	目的・目標、根性	
	鎧伝サムライトルーパー	正義感、悪者退治、友情、目的・目標		ミスター味っ子	目的・目標、恋	
	事件解決	超音戦士ボーグマン	友情、恋、悪者退治、正義感	学校生活	セーラー服通り	恋、友情
		超獣戦隊ライブマン	正義感、友情、悪者退治		エスパー魔美	恋
		アニメ三銃士	友情、恋、悪者退治、正義感		ハロー!レディリン	目的・目標、恋
		仮面ライダーBLACK	正義感、悪者退治	あぶない少年II	友情	
		世界忍者ジライヤ	目的・目標、正義感、友情、悪者退治	家庭生活	キテレッツ大百科	教訓
		ビックリマン	冒険、友情、悪者退治、正義感		怪物くん	教訓、悪者退治
		魔神英雄伝ワタル	冒険、悪者退治、正義感		ドラえもん	教訓
西部警察PART III		悪者退治	パーマン		教訓、悪者退治	
シティーハンター2	恋	サザエさん	教訓			
花のあすか組!	友情、正義感、悪者退治	わんぱくダック夢冒険	冒険、教訓			
ザ・スクールコップ	悪者退治	じゃあまん探偵団魔隣組	教訓			
ゲゲゲの鬼太郎	友情、正義感、悪者退治	忍者ハットリくん	教訓			
時代劇	あぶない刑事	悪者退治	若奥さまは腕まくり!	恋		
	NEWジャングル	悪者退治、友情	あそびにおいでヨ!	恋、仕事、友情		
	水戸黄門	人情、悪者退治	とんとんドメルとロン			
	名奉行遠山の金さん	人情、悪者退治	コンボラキッド			
スポーツ・根性	暴れん坊将軍III	人情、悪者退治	小公子セディ	成長		
	武田信玄	人情	燃える!お兄さん			
	ドカベン	友情、目的・目標、根性	おそ松くん			
	キャプテン翼	友情、目的・目標	ど根性ガエル	友情		
	F	目的・目標、友情	つるピカハゲ丸くん			
	プロゴルファー祈子	目的・目標、恋	ついでにとんちんかん	恋		
	ドラゴンボール	目的・目標、友情、悪者退治	のらくろクン			
魁!!男塾	友情、根性、目的・目標	オバケのQ太郎				

表14 テーマからみた内容

	男性主人公		女性主人公		動物主人公		全 体	
	人	%	人	%	人	%	人	%
戦 闘	9	22.5%	—	— %	—	— %	9	17.0%
事件解決	6	15.0	1	12.5	—	—	7	13.2
時 代 劇	4	10.0	—	—	—	—	4	7.5
スポーツ・根性	8	20.0	1	12.5	—	—	9	17.0
学校生活	1	2.5	3	37.5	—	—	4	7.5
家庭生活	7	17.5	3	37.5	3	60.0	13	24.6
ギャグ・ナンセンス	5	12.5	—	—	2	40.0	7	13.2
計	40人	100.0%	8人	100.0%	5	100.0%	53人	100.0%

表15 テーマ・メッセージ

	男性主人公		女性主人公		動物主人公		全 体	
	人	%	人	%	人	%	人	%
友 情	16	20.8%	3	20.0%	1	25.0%	20	20.8%
恋	5	6.5	6	40.0	—	—	11	11.5
人 情	4	5.2	—	—	—	—	4	4.2
正義感	10	13.0	1	6.7	—	—	11	11.5
目的・目標	10	13.0	2	13.2	—	—	12	12.5
冒 険	2	2.6	—	—	1	25.0	3	3.1
教 訓	5	6.5	1	6.7	2	50.0	8	8.4
仕 事	—	—	1	6.7	—	—	1	1.0
悪者退治	20	26.0	1	6.7	—	—	21	21.9
根 性	3	3.8	—	—	—	—	3	3.1
成 長	1	1.3	—	—	—	—	1	1.0
献 身	1	1.3	—	—	—	—	1	1.0
計	77人	100.0%	15人	100.0%	4	100.0%	96人	100.0%

登場人物の力関係

ではこれらの登場人物の人間関係を、ベクトルの方向で分類してみよう(図8)。

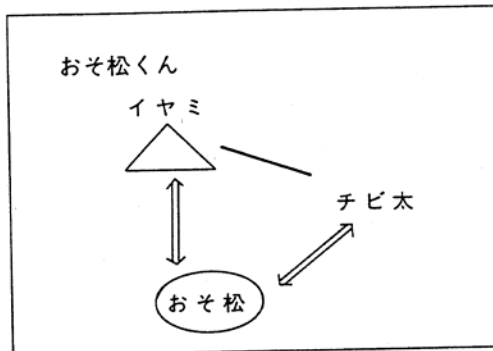
主人公と副主人公との関係を「親和」「対立」「庇護」の3つの軸で見てゆくと、まず主人公と副主人公(複数)が親和関係にある「仲間型」、また主人公が副主人公の1人と強い親和関係で結ばれている「相棒型」、主人公が単独行動をとることの多い「独立型」、主人公が他の登場人物より高い立場にある「支配型」、そして主人公がまわりから護られている「庇護型」に分類される。

これらの5つのタイプについて、表16に主

人公の性別との関連でまとめた結果を掲げた。全体としては仲間型が57%と圧倒的に多い。また男性主人公の番組は例によって5つのタイプのそれぞれに分散しているが、女性主人公の番組は「仲間型」(50%)と「庇護型」(38%)が圧倒的であり、「支配型」「独立型」は全く見られない。男性主人公は様々な人間関係の中で描かれているのに、女性主人公が依存的な人間関係を強調するような描かれ方をしているのは、やはり性的ステレオタイプの形成に力を貸しているとみられ、望ましいこととは思われない。

図8 人間関係のタイプ(例)

<相棒型>



<仲間型>

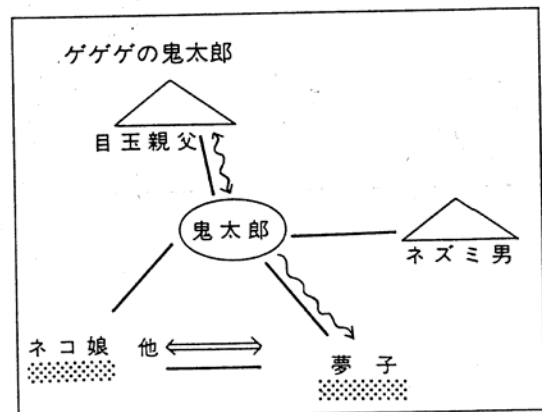
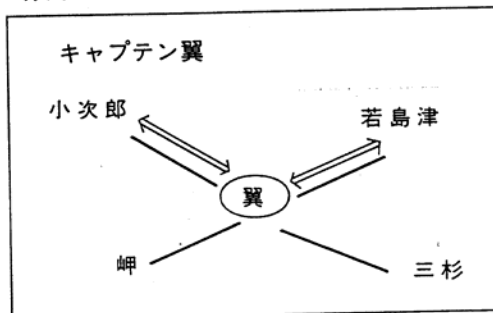
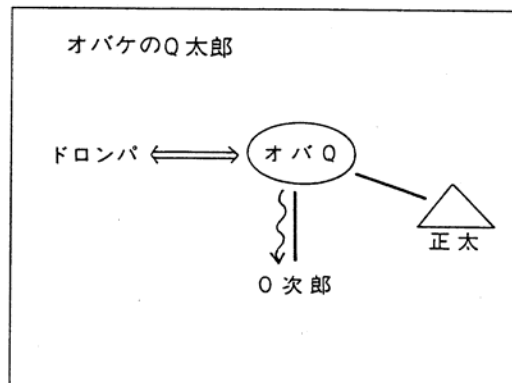
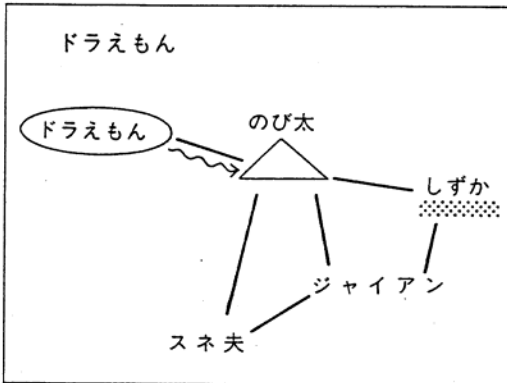


図8 人間関係のタイプ(例)

<仲間型>



<独立型>

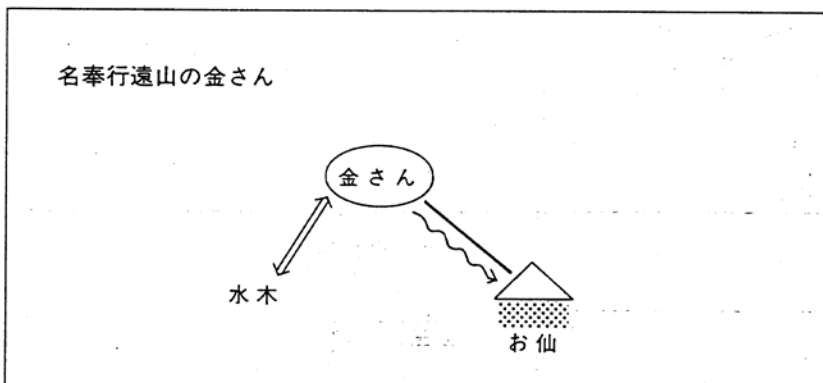
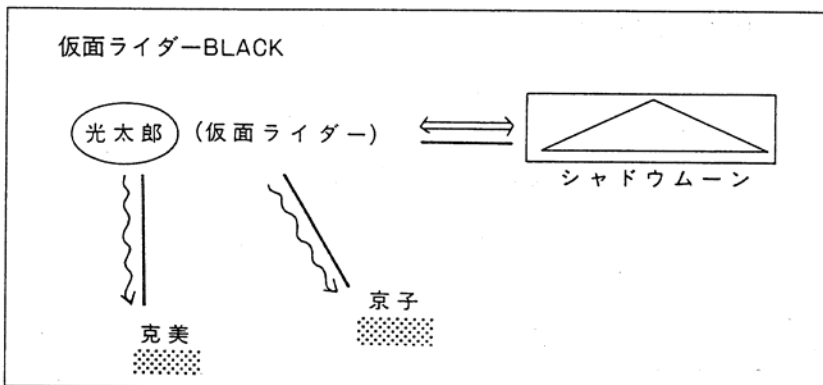
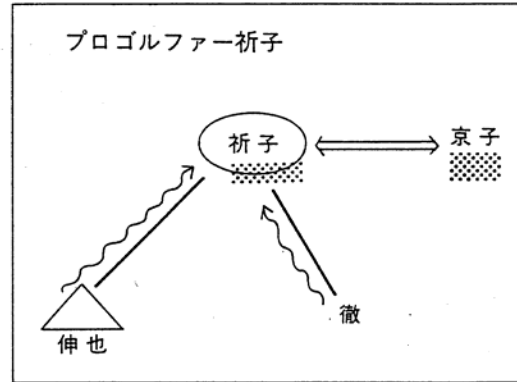
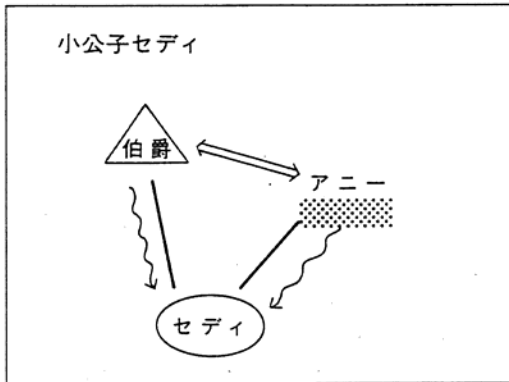
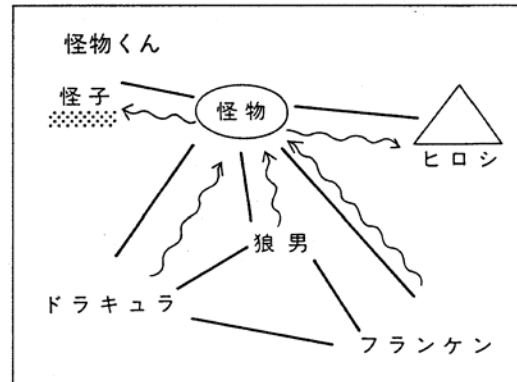
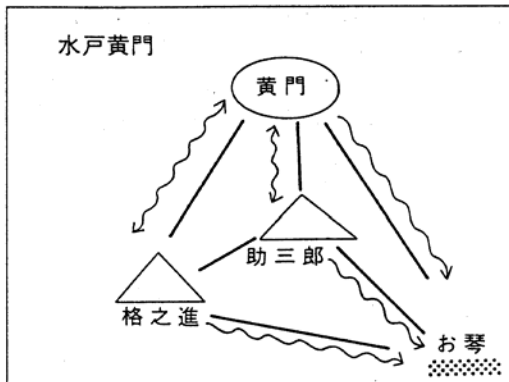


図8 人間関係のタイプ(例)

<庇護型>



<支配型>



— 凡例 —

親和 ———

対立 <=>

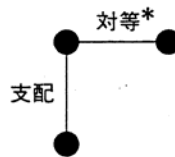
庇護 ~~~~~

主人公 ○

副主人公 △

女性キャラクター ■■■■■

組織 □



(*上の図は、水平に近づくほど「対等」、垂直に近づくほど「支配」関係を示している。)

表16 力関係からみたタイプ

	男性主人公		女性主人公		動物主人公		全 体	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
庇護型	1人	2.6%	3人	37.5%	—	—%	4人	7.6%
支配型	4	10.3	—	—	1	16.7	5	9.4
独立型	7	17.9	—	—	—	—	7	13.2
相棒型	5	12.8	1	12.5	1	16.7	7	13.2
仲間型	22	56.4	4	50.0	4	66.6	30	56.6
計	39人	100.0%	8人	100.0%	6	100.0%	53人	100.0%

家族との関係をめぐって

主人公に家族がいる場合に、その種類はどうなっているか。表17に見られるように、両親がそろった状況設定が行われているのは女性主人公の場合の25%、男性主人公の場合の5%と大きな差があり、別居しているがとにかく家族のある主人公は、女性の場合38%、

男性21%。また家族の有無にふれていないケースが、男性の場合26%もあるのに対して女性はゼロとなっている。男性主人公のほうが、家族からの自立を示すかのような描かれ方をしているとも理解できる。

表17 同居家族

	男性主人公		女性主人公	
	人数	割合	人数	割合
両親	2人	5.1%	2人	25.0%
父	1	2.6	—	—
母	—	—	1	12.5
両親と兄弟姉妹	5	12.8	—	—
兄弟姉妹	1	2.6	—	—
家族はいるが別居	8	20.5	3	37.5
擬似家族	5	12.8	—	—
不明	10	25.7	—	—
その他	7	17.9	2	25.0
計	39人	100.0%	8人	100.0%

暴力をめぐって

日本のテレビ番組には暴力や性がストレートに描かれることが多いと指摘される。では子ども番組の場合にはどうか。全体として暴力が用いられない番組は11番組しかなく、他には大なり小なり暴力が描かれている。男性主人公の場合には、暴力を含まない番組はわずか18%、これに対して女性主人公の場合は

50%と大きな差がみられる。

ただし「善と悪」の両方に暴力がふるわれる場合は少なく、多くは「悪」に対して（男性の場合62%）であるが、とって、これが許容範囲または適正比率かどうかは、疑問のあるところだろう(表18)。

表18 暴力

	男性主人公		女性主人公	
	人数	割合	人数	割合
対 善と悪に	6人	15.4%	1人	12.5%
悪に	24	61.6	1	12.5
暴力なし	7	17.9	4	50.0
その他	2	5.1	2	25.0
計	39人	100.0%	8人	100.0%

問題解決方法

たいていのストーリーには、主人公が問題解決を迫られる場面が出てきて、それが1つのヤマ場となっている。そうした状況で主人公はどのような問題解決のしかたをしたか。

こうした場面が描かれている47番組についてみると、男性主人公は暴力（自己犠牲を含む）を用いて解決する方法を中心に、他の様々な解決の方法がとられているが、女性主人公

の場合は男性主人公よりも「協力・話し合い」が多く(38%)、「誰かにしてもらおう」(25%)方法も含めて、調和的依存的な方法が目立つ(表19)。この点も女の子たちに大きな教育力をもつのではなかろうか。むしろこうした解決方法が望ましくないわけではないが、性的ステレオタイプとのかかわりで、気になる点である。

表19 問題解決方法

	男性主人公		女性主人公	
	人数	割合	人数	割合
暴力・犠牲	23人	58.9%	2人	25.0%
魔法・超能力	2	5.1	1	12.5
協力・話し合い	3	7.7	3	37.5
知恵・アドバイス	6	15.4	—	—
ナンセンス	4	10.3	—	—
誰かにしてもらう	1	2.6	2	25.0
計	39人	100.0%	8人	100.0%

主人公の職業と社会的地位

子どもは自分の親を理想とし、これに同一化するだけでなく、物語やアニメーションの主人公にも同一化の対象を設定するといわれる。

とすれば子ども番組の中に描かれている主人公の職業や社会的地位を、自分の未来や理想像と重ね合わせることも十分に考えられる。そうした意味では、テレビは最大の教育力を

もつエージェントであるかもしれない。

表20によれば、ここでもまたこれまで見てきたデータと同じ傾向が見いだされる。すなわち女性主人公8人中5人は学生であり、他も会社員、主婦、スポーツ関係者以外の条件をもっていない。これに対して男性主人公は多様な設定がなされている。

表20 職業・社会的地位

		男性主人公		女性主人公		全 体	
正義の味方		9人	22.0%	—人	—%	9人	18.0%
忍者・拳道家		5	12.2	—	—	5	10.0
国主・王子・姫		3	7.3	—	—	3	6.0
先 生		4	9.8	—	—	4	8.0
刑 事		6	14.6	—	—	6	12.0
学 生	小学生	5	12.2	1	11.1	6	12.0
	中学生	—	—	1	11.1	1	2.0
	高校生	4	9.8	2	22.2	6	12.0
	大学生	—	—	1	11.1	1	2.0
会社員		—	—	1	11.1	1	2.0
お手伝い・主婦		—	—	2	22.2	2	4.0
スポーツ関係		1	2.4	1	11.1	2	4.0
軍 人		1	2.4	—	—	1	2.0
その他		1	2.4	—	—	1	2.0
なし		2	4.9	—	—	2	4.0
計		41人	100.0%	9人	100.0%	50人	100.0%

(39人)*

(8人)

*実数(複数選択のため、表中の数字は実数を上まわっている)

5.まとめ



以上、子どもが見ている53番組の内容分析の結果から導きだされる結論は、次のような点である。

1) 子どもが見ているドラマ・アニメーション番組を53番組(1988年6月～8月放映)分析したところ、番組によって男子のよく見る番組と女子のよく見る番組がある。

2) 好きな登場人物は53番組で330人のほり、主人公にも副主人公にもそれぞれファンがいる。ただし全体の4分の3は男性キャラクターが好まれている。また男子より女子のほうに異性キャラクターのファンが多い。

3) 子ども番組として放映されている番組は、ドラマ対アニメーションが1対2の割合である。全体として「テレビ朝日」と「フジテレビ」とが6割を放映している。

4) 男性主人公のストーリーが、過去、現在、未来を含み、世界に活躍の場があるのに対し、女性主人公のストーリーは時間的にも、空間

的にも狭く限定されている。またテーマ・メッセージも女性主人公の場合、学校や家庭生活に限定され、問題が生じたときの解決の方法も依存的であり、周囲に「してもらおう」形が多い。

5) 登場人物の人間関係を5つに分類してみると、女性主人公の番組は「仲間型」「庇護型」が多く、男性主人公は多岐にわたって描かれている。また女性主人公の場合は家庭や両親とのつながりを男性主人公より強調して描かれている。

また職業や社会的地位も、女性主人公は「子」の立場を示す「学生」が多く、男性主人公のように個性や独立した人格に描かれていることが少ない。

以上の点からわれわれが憂慮するのは、テレビのもつ教育力が、日本の女の子たちの人間形成に与える歪みの可能性である。よく行

われる試算であるが、小学生の場合、1年間の授業時間数は約660時間程度。しかしテレビ視聴は、仮に週20時間（1日2時間程度で、土曜、日曜はそれよりやや長時間見るとして）とすれば年間で1040時間、実に授業時間の1.5倍もの「教育」を受けることになる。その中で子どもが最も熱心に見る、子ども番組（ドラマやアニメーション）の中で、主人公の描き分けられ方に、これまで見てきたような性的ステレオタイプが含まれていることは、日

本の男女共同参加型社会の実現に大きな障害となるのではないか。

子ども番組の内容に、親や教師がより関心をもって見守る必要があるのではなかろうか。

（注 本稿は横山聡子の昭和63年度東京学芸大学修士論文「性役割学習に及ぼすテレビメディアの研究」のデータを基に新たに作成したものである）

地球社会の子どもたち ②⑩

日本—その5 働く子どもたち

放送大学客員教授

深谷 昌志



「小僧」に出る

自伝などを手がかりとして、かつての子どもたちの生活を理解しようとするとき、勉強や遊びの記述はわかりやすい。状況が異なっても、現在と共有する面を見いだせるからである。それに対し、子どもたちの働く姿は現在とあまりにかけ離れているので理解しにくい。

そこで、以下、いくつかの自伝を引用しながら、子どもたちの働く姿を紹介することにしたが、実をいうと自伝を書いている人のかなりは、(旧制)中学へ入り、高等教育を修了している。いわばエリートたちで、こうした人の自伝には受験勉強の話がのっていることが多いが、働く姿は描かれていない。そのため自伝をかなり集めても、働く子どもについての良い資料を入手しにくい。

池田六衛の『丁稚小僧ものがたり』(郷土出版、昭和62年)は、そうした中で貴重な資料だが、明治32年、松本生まれの著者は「私らの子どものころは、たいていの商店ではその家の総領息子を商法修養のためにみんな奉

公に出したものです。」(P.9)の環境で育ち、大正元年、小諸の呉服屋へ奉公に出ている。

「小僧の大事な仕事のひとつに、表の掃除がありました。年季に応じて上から段々に掃除の持ち場が決まっており、小僧は、表の掃除さえ済めば、例えほかがどんなに汚れていようと、すぐに飯を食べにいい決まりになっていました。」

もちろん、掃除は小僧の仕事の序の口で、

「小諸に奉公に上がり、小僧なりに一番つらかったのは、ふろ番をさせられることでした。ご承知のように、小諸というところは千曲川の水位が非常に低いため、水がないのです。いわゆる深井戸用の百尺のポンプも利きません。」そして、

「くみ上げた翌日は、ふろ番です。湯加減をみながら、ふろに入ってくる人の背中を洗い流す仕事——三助をやるわけですね。男の人は全員背中を流してやります。旦那さまから始まって、坊ちゃん、新宅の旦那さま、そのまた坊ちゃん、最後は仕入れ部長です。」のような記述がみられる。これだけだと、それほど大変でなさそうだが、

「私が頭にコブや傷がなくなったのは、21歳過ぎで、それまでは絶えることがありませんでした。ある時、下駄でぶん殴られ、頭から血が出るほどのケガをしましたが、いまハゲになっているのはそのせいだ、とも思いますが——。」という。

そして10年の奉公を終え、1年間のお礼奉公をし、12年後に自宅に戻っている。

「正式に退店が決まりますと、店からは紋付きの羽織、袴と、松と鶴の模様の付いた三組の杯が贈られ、金200円也を添えて退店式が行われます。お酒が出る、お膳にごちそうが出る——大和屋さんの親類ご一同として、別に5円が付きます。

しかし、正式になったものは、ごくわずかでした。つらい奉公に耐えられず、みんな途中で暇をいただいたものです。同じ年に入店したエー、テー、チョー、タイ、コマ、サン、トラ、イチの8人のうち、正式退店した小僧は、タイとイチの2人だけでした。」(P.138)



という。そうした修業時代をふり返って、

「丁稚奉公というものは決して人間らしい扱いを受けられない——それが当然の時代でもありました。」と回顧している。

また、明治33年に岡山に生まれた中山幸市は、高等小学校をでて、炭屋に奉公しているが、その生活は、

「『こうきつどん』となった私の小僧生活は、毎朝早く起きて、表をはき、廊下をふく仕事から始まった。昼間は木炭の運搬、倉庫の出し入れ、文字通り鼻の頭をまっ黒にして働いた。」(中山幸市、『私の履歴書』28巻、日経、昭和42年、P.116)で、

「大きく割れた指のあかぎれに膏薬を流し、焼け火ばしで穴をふさぐ。あるいはかんじきをはいて冬山を仕入れに歩いた生活が、約3年も続けられたであろうか……。」という。

さらに明治14年、兵庫県生まれの井上貞次郎は、明治27年、神戸の石炭問屋に奉公に行っているが、その生活を、

「いなかからぼっと出の小僧は、朋輩でちの与吉や乳母、女中たちからいじめられ通しだった。居眠りしている間に顔に墨を塗られて笑い者になったり、返事の仕様が悪いと小言を食ったりした。寒中のふき掃除や早朝の門前掃除で手足はしもやけで赤ぶくれになった。」(井上貞次郎『私の履歴書』28巻、日経、昭和42年、P.127)と回顧している。

農業で働く

こうした回顧に目を通して見ると、修業時代の大変さがうかんでくるが、大変だったのは商人だけでなかった。

明治13年、新潟県柏崎市の庄家に生まれた藍沢彌八は、子どもたちの農作業を以下のように記述している。

「私もまた、農家の長男として7、8歳の小さい時から父や母の百姓の仕事をよく手伝



ったものである。農業というものは非常な重労働である。特に秋の収穫期などはねこの手も借りたいほどいそがしい。私がまだ小さくて、稲刈りなどができなかったころは、それはそれなりに、子供でもできる仕事で両親の手伝いをした。(中略)それから、父について山に行き、タキギをつくる手伝いをした。父がまさかりで木をきり、太い幹は割ってマキにし、小さな木や枝は払って炉でたくためのタキギにする。それを束ねて背に負い、途中車のきく所まで運ぶのが、私や私のすぐ下の妹の役目である。(藍沢彌八『私の履歴書』10巻、日経、昭和35年、P.5)

先に、修業の例としてあげた井上貞次郎は、子ども時代の農家での生活を以下のように回想している。

「生家はむしろ豊かな方で、私も村でただ一人高等まであげてもらったが、それでも結構追い使われた。大根売りや米つき。へとへとになって夜机に向かいながらついうとうと

し、カンテラの火で着物の右そでを焦してひどくしかられたこともあった。」

また、明治45年、長野県飯田市に生まれた武部善人が大正10年前後の農家での生活を描写しているのを、それを紹介してみよう。

「養蚕には子供に適した仕事がたくさんある。当時、当地の小学校では春と秋の農繁期に『蚕休』があった。私など休み以外にも激しい労働にこき使われた。2キロも離れた山の桑畑での桑摘み。それを大きな桑籠に入れて狭い坂道を桑株につかまりながら、やっとなりの少し広い道に出て、また石ころだらけのデコボコ道を石車に乗って転んだり、上り下りしてわが家にたどりつくのである。」

「いずれにせよ、春蚕も秋蚕も桑葉を大きな籠へ足で踏みつけて入れると、30~40キロもあった。それを子供の私でも、2キロも離れた山畑から背負って運ぶのだ。今の子供には想像もつくまい。背負い紐が両肩に食い込み、息も絶え絶えであった。」(武部善人『回

想・大正昭和初期の山村生活誌』三一書房、昭和62年、P.30)

生活が大変なだけでなく、生活そのものが貧しい。

「家庭における食物もきわめて粗末であった。朝飯と昼飯は米麦半々、時には麦の方が多いような麦飯であった。麦は前の晩に炊いておいて、それを朝暗いうちから大きな鍋か釜へ入れた生米の上に入れて、もう一度炊くのである。そうしないと麦は硬くて食べられない。」そして、

「夕食は、昼の残りの麦飯に、うどんとか、小麦粉を団子にして味噌やたつくりで味をつけた団子汁(つめり)といった)などを上にかけて食べるのである。」(P.63)

農業の例ではないが、大正6年生まれの水谷啓二は、高等科を終えてから、つむぎ商人として行商を始めるが、初めての旅へ出かけたときのことを以下のように記述している。

「あくる日の朝、私はくらいうちに起きられました。台所の火が、あかあかと燃えておりました。母は、私の商人としての門出を祝って、白いごはんにお頭つきの魚をそえてくれました。母は、

「宿に着いたら、荷や身の廻りのものに気をつけるんだよ。」とか、『身体を大事にして、便りを忘れないように。』とか、いろいろ旅先の注意を与えて、小遣いに2円くれました。私は、まだ夜の明け切らぬうちに家を出ました。曲り角にきてふりかえると、母はまだ門口に立って見送っておりました。」(水谷啓二『人生行商記』白楊社、昭和32年、P.26)

さらに、大正15年生まれの増田小夜は、子守の生活を以下のようなようだという。

「私の仕事といえば、朝は5時ころに起きられ、川に洗濯にやらされます。田舎の川は、

食器を洗う川と洗濯の川とが別になっています。冬はどちらの川も凍っていますが、みんなが洗うところは、そこだけ氷が薄くなっていて、その薄いところを割っておしめを洗うのですが、子供なものでのろいので、洗ったおしめが、ゆすぐ時はもう凍ってしまうのです。それをあかぎれの傷む手をフーフー吹きながら、また水につけてゆすぎます。洗濯が終ると掃除をして、やっと朝飯で、それからがほんとうの子守というわけです。」

そして、食事は以下のように記述している。

「腹をみたすと言えば、私のごはんは全く他人さまじいでした。お勝手の流しの下に、かけたどんぶりが一つ置いてあって、その中に残ったごはんを汁を入れてくれます。たくさん残ればもりきりでもいっぱいですが、残らなければそれまでのことです。みんなの御飯がすむと、私は台所へ行ってそのどんぶりをのぞきこみ、入っていると急いで流しの下にちこまて食べるのです。

寝床も、麻の袋にボロをつめたものが物置の隅にころがしてあって、その中に足の方からごそごとボロをかきわけて這いこんで眠りました。」(増田小夜『芸者』現代教養全集11巻、筑摩書房、昭和35年、P.138)

こう見てくると、商業そして農業を問わず、そして、明治はむろんのこと、大正、そして昭和に入っても、子どもたちが貧しさの中で生活していたことがわかる。現在だと、働く子どもというと、どこか外国の話と思いがちだが、日本の子どもの生活をほんの少しさかのぼるだけで、働く子の姿にふれるのはこれまでの記述の通りである。換言すると、豊かさに囲まれた現代の子どもたちのほうが、子どもの歴史の中ではむしろ異端の存在なのかもしれない。

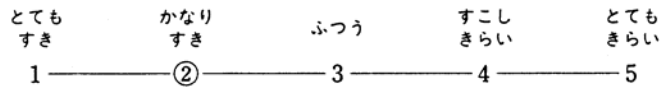
テレビ視聴に関するアンケート

単位はパーセント

ちょうさのおねがい

やりかたの練習

あなたはテレビを見るのが好きですか。



あなたがもしテレビを見るのを **かなり好き** と思ったら
上のように番号のところを○でかこんでください。

1. はじめに、あなたの学年や男女についておしえてください。

- | | | | |
|-----------|-------|-------|-------|
| 1) あなたの学年 | a. 4年 | b. 5年 | c. 6年 |
| | 29.8 | 28.8 | 41.4 |
| 2) あなたの性別 | a. 男子 | b. 女子 | |
| | 50.7 | 49.3 | |

2. あなたの学校の名前を書いてください。

() 小学校

3. あなたの家族はだれとだれですか。あなたのほかに、いる人の番号をかこんでください。兄弟がいる人は人数も書いてください。

- | | | | |
|---------|----------------|----------------|--------|
| 1) お父さん | (1. いる
96.2 | 2. いない
3.8 | |
| 2) お母さん | (1. いる
98.8 | 2. いない
1.2 | |
| 3) お兄さん | (1. いる
34.2 | 2. いない
65.8 | |
| A. 小学生 | B. 中学生 | C. 高校生 | D. その他 |
| ()人 | ()人 | ()人 | ()人 |
| 4) お姉さん | (1. いる
27.6 | 2. いない
72.4 | |
| A. 小学生 | B. 中学生 | C. 高校生 | D. その他 |
| ()人 | ()人 | ()人 | ()人 |

5) 弟	(1. いる 29.5	2. いない 70.5
A. 赤ちゃん ()人	B. 小学校前 ()人	C. 小学生 ()人
6) 妹	(1. いる 26.3	2. いない 73.7
A. 赤ちゃん ()人	B. 小学校前 ()人	C. 小学生 ()人
7) おじいさん	(1. いる 15.0	2. いない 85.0
8) おばあさん	(1. いる 22.4	2. いない 77.6
9) その他	(1. いる 7.8	2. いない 92.2

4. 次にあなたについてききます。1つだけ○をつけてください。

A. 次のようなときに、あなたはどのくらいおこりますか。

1) 友だちだと信じている人にだま されたとき	とても おこる 25.8	おこる 34.0	すこし おこる 31.3	おこら ない 8.9
2) だれかがあなたの服を引っか くるとわらったとき	9.5	17.5	40.4	32.6

B. 次のようなときに、あなたはどのくらいこわいですか。

3) 暗やみのさびしい道をひとり 通るとき	とても こわい 25.1	こわい 17.6	すこし こわい 30.4	こわく ない 26.9
4) けむしが自分の服について のを見て	27.6	17.9	21.4	33.1

C. 次のようなときに、あなたはどのくらいいやですか。

5) きたないつめ	とても いやだ 30.4	いやだ 37.8	すこし いやだ 25.3	いやで ない 6.5
6) ねずみの死がい	53.0	18.7	14.7	13.6

D. 次のようなときに、あなたはどのくらいかわいそうだとおもいますか。

	とても かわいそう	かわい そう	すこし かわいそう	かわいそう でない
7) よく知っている友だちの親がし んだことを聞いたとき……………	76.8	18.9	4.0	0.3
8) ちょうかくもの巢にかかってば たばたしているのを見たとき……………	29.4	40.5	21.3	8.8

E. 次のようなとき、あなたはどのくらい悪いとおもいますか。

	とても わるい	わるい	すこし わるい	わるくない
9) 公園の花をむしる……………	41.7	39.4	14.3	4.6
10) げひんなことばをつかう……………	21.1	39.8	27.8	11.3

F. 男の子にききます。(女の子はとばして次へすすんでください。)

あなたはほかの人からどんな子だとおもわれているでしょう。

一番あてはまる番号を1つだけ○でかこんでください。

あなたは	女の子のよう おとなしくて やさしい子	すこし おとなしい子	ふつう	わりと かっぱつな子	かっぱつで いかにも 男の子らしい子
	1.0	7.2	43.7	28.4	19.7

G. 女の子にききます。(男の子はとばして次へすすんでください。)

あなたはほかの人からどんな子だとおもわれているでしょう。

一番あてはまる番号を1つだけ○でかこんでください。

あなたは	かっぱつで 男の子 みたいな子	わりと かっぱつな子	ふつう	すこし おとなしい子	おとなしくて いかにも 女の子らしい子
	14.0	34.9	39.5	11.6	0.0

5. あなたは、次の勉強がどのくらいすきですか

	とても すき	わりと すき	ふつう	あまり すきでない	きらい
1) 国語……………	13.3	26.5	36.2	15.7	8.3
2) 算数……………	21.1	24.8	24.4	17.0	12.7
3) 音楽……………	33.8	23.8	20.7	10.1	11.6
4) 体育……………	59.6	19.2	14.2	4.3	2.7
5) 家庭科……………	28.0	20.0	17.4	6.0	4.1

まだならって
いない
(24.5)

6. あなたはどんな色が好きですか。好きな2つをえらんでください。
一番好きな色に◎、つぎに好きな色に○をつけてください。

1. あお	◎ 22.0	○ 11.2	4. あか	◎ 5.9	○ 7.4	7. きいろ	◎ 12.7	○ 17.8
2. みずいろ	21.5	17.3	5. ピンクいろ	4.8	5.3	8. しろ	13.3	14.2
3. みどりいろ	6.7	9.2	6. オレンジいろ	3.6	6.3	9. くろ	5.2	9.7
						(なし)	4.3	1.6)

7. あなたがしょうらいになりたいしごとを、1つだけ書いてください。
まだわからない人は書かなくていいです。

[]

8. あなたは次のテレビ番組を、ふだんどのくらい見ていますか。

あてはまる数字を1つえらんで○をつけてください。

下の()には、その中に出てくる一番好きな人や動物の名前を1人だけ書いてください。いない人は書かなくていいです。

	かならず みる	たいてい みる	ときどき みる	あまり みない	ぜんぜん みない
1) 鎧伝サムライトルーパー……………	2.0	2.3	4.8	3.5	87.4
(なまえ)					
2) 新まんがなるほど物語……………	2.1	7.4	19.6	15.2	55.7
(なまえ)					
3) おそ松くん……………	19.3	25.5	24.6	10.1	20.5
(なまえ)					
4) まんが日本昔ばなし……………	6.6	10.5	17.0	16.5	49.4
(なまえ)					
5) 聖闘士星矢 (セイントセイヤ)……	23.4	12.7	12.0	8.2	43.7
(なまえ)					
6) 鉄拳チンミ……………	6.7	3.6	5.4	5.2	79.1
(なまえ)					
7) ついでにとんちんかん……………	29.2	21.1	18.7	9.2	21.8
(なまえ)					
8) ビックリマン……………	26.8	21.6	16.1	9.9	25.6
(なまえ)					
9) 闘将!! 拉麺男(ラーメンマン)……	10.7	6.7	11.7	10.9	60.0
(なまえ)					
10) のらくろクン……………	11.8	19.4	22.5	15.1	31.2
(なまえ)					

	かならず みる	たいてい みる	ときどき みる	あまり みない	ぜんぜん みない
11) サザエさん……………	32.9	25.2	20.0	7.6	14.3
(なまえ)					
12) キテレツ大百科……………	23.5	22.4	19.0	11.2	23.9
(なまえ)					
13) 小公子セディ……………	7.5	9.4	10.1	9.6	63.4
(なまえ)					
14) ゲゲゲの鬼太郎……………	9.8	16.6	25.8	18.5	29.3
(なまえ)					
15) 燃える!お兄さん……………	23.6	11.6	11.5	10.4	42.9
(なまえ)					
16) 魁!!男塾……………	20.4	9.9	7.8	6.8	55.1
(なまえ)					
17) ど根性ガエル……………	12.1	15.1	20.8	14.9	37.1
(なまえ)					
18) わんぱくダック夢冒険……………	7.5	7.3	8.6	7.5	69.1
(なまえ)					
19) 超人マスター……………	1.2	1.3	1.7	3.7	92.1
(なまえ)					
20) エスパー魔美……………	9.6	10.4	18.9	16.2	44.9
(なまえ)					
21) 忍者ハットリくん……………	10.1	13.3	24.5	17.5	34.6
(なまえ)					
22) オバケのQ太郎……………	9.0	12.5	21.9	19.0	37.6
(なまえ)					
23) 怪物くん……………	8.3	11.5	20.3	17.8	42.1
(なまえ)					
24) パーマン……………	8.1	10.4	17.3	19.8	44.4
(なまえ)					
25) ウルトラB……………	8.4	12.3	17.6	18.9	42.8
(なまえ)					
26) ドラえもん……………	29.0	23.4	22.9	8.3	16.4
(なまえ)					
27) ピコリーノの冒険……………	0.6	0.9	1.7	2.8	94.0
(なまえ)					
28) どんどんメルとロン……………	2.8	2.8	5.0	4.4	85.0
(なまえ)					
29) 超音戦士ボーグマン……………	1.6	0.7	2.5	3.3	91.9
(なまえ)					

● 資料1 調査票見本および集計表

	かならず みる	たいてい みる	ときどき みる	あまり みない	ぜんぜん みない
30) ドラゴンボール…………… (なまえ)	33.0	13.6	15.9	12.7	24.8
31) F…………… (なまえ)	8.4	4.9	5.5	6.3	74.9
32) トップ・ジョ…………… (なまえ)	4.1	4.0	6.8	5.4	79.7
33) つるピカハゲ丸くん…………… (なまえ)	21.9	16.0	20.4	12.1	29.6
34) ハロー！レディリン…………… (なまえ)	3.1	1.7	4.0	4.7	86.5
35) ドカベン…………… (なまえ)	9.4	7.8	10.9	10.6	61.3
36) ミスター味っ子…………… (なまえ)	23.4	14.5	13.5	11.4	37.2
37) 青春アニメ大全集…………… (なまえ)	1.2	1.1	2.0	3.0	92.7
38) シティーハンター2…………… (なまえ)	4.2	4.4	7.7	8.9	74.8
39) 魔神英雄伝ワタル…………… (なまえ)	7.3	3.6	5.4	4.0	79.7
40) コンボラキッド…………… (なまえ)	1.6	2.1	5.3	6.5	84.5
41) アニメ三銃士…………… (なまえ)	10.7	6.4	9.7	7.4	65.8
42) キャプテン翼…………… (なまえ)	11.3	6.4	13.4	13.0	55.9
43) 超獣戦隊ライブマン…………… (なまえ)	4.3	5.2	7.3	7.0	76.2
44) じゃあまん探偵団魔隣組…………… (なまえ)	15.9	11.7	14.9	11.7	45.8
45) 世界忍者ジライヤ…………… (なまえ)	12.0	9.5	9.6	10.0	58.9
46) 仮面ライダーブラック…………… (なまえ)	9.1	5.5	9.0	10.2	66.2
47) あぶない刑事…………… (なまえ)	9.5	8.8	9.0	6.5	66.2
48) セーラー服通り…………… (なまえ)	6.3	4.5	5.4	6.5	77.3

	かならず みる	たいてい みる	ときどき みる	あまり みない	ぜんぜん みない
49) プロゴルファー祈子……………	12.5	9.1	10.2	7.8	60.4
(なまえ)					
50) 西部警察PARTⅢ……………	4.9	3.6	6.1	5.1	80.3
(なまえ)					
51) 特捜最前線……………	1.2	0.8	2.7	3.0	92.3
(なまえ)					
52) 水戸黄門(第12部)……………	7.1	7.8	12.8	8.6	63.7
(なまえ)					
53) 花のあすか組!……………	13.5	6.2	9.5	6.8	64.0
(なまえ)					
54) あぶない少年Ⅱ……………	25.4	9.4	10.3	6.1	48.8
(なまえ)					
55) ザ・スクールコップ……………	9.2	6.4	5.8	5.1	73.5
(なまえ)					
56) NEWジャングル……………	2.3	2.7	2.1	3.3	89.6
(なまえ)					
57) 若奥さまは腕まくり!……………	15.9	4.6	4.0	3.2	72.3
(なまえ)					
58) あそびにおいでョ!……………	8.6	6.1	7.3	5.4	72.6
(なまえ)					
59) 武田信玄……………	18.5	8.7	13.7	8.2	50.9
(なまえ)					
60) 暴れん坊将軍Ⅲ……………	1.6	2.5	4.0	3.8	88.1
(なまえ)					
61) 名奉行遠山の金さん……………	3.1	2.7	5.4	5.3	83.5
(なまえ)					

—— これでおしまいです。ありがとうございました。